

令和4年3月24日

事業成果報告

社会福祉法人恩賜財団栃木県済生会支部栃木県済生会

地域型保育施設 うつのみやなでしこ保育園

宇都宮市竹林町 941-3

定員 80 名

地域枠 23 名

事業の概要（物品、購入品名）

電子ピアノ

◇ 助成を必要とした理由・有効性

うつのみやなでしこ保育園は済生会宇都宮病院が管理運営している地域型保育施設になります。2015年に宇都宮市の認可保育園として職員枠60名、地域枠20名の定員80名で0歳児から2歳児（職員の特定利用は就学前まで）を定員として開園しました。開園2年目に114名と園児が定員を大きく越えた結果、保育床面積の不足、保育士数不足が生じてしまいました。このため、職員枠は就学前までの保育をしていたところを満2歳児までに制限し、原則3歳以上は連携幼稚園に異動していただかねばならず、園児、保護者に負担をかけてしまいました。その後、保育士を確保することが問題解決の第一歩として、保育士の処遇改善や労働環境を図り、保育士数は充足したところです。R3年度より3歳児の保育を再開し、R4年度は4歳、R5年度は5歳児保育を再開する計画で建物の増築工事を自主工事で行うことも決定しており、R4年2月現在基本設計を進めています。

財政面においては、保育料の減収と保育士確保により人件費が増加したことで、昨年度も約4,000万円の赤字ときびしい状況である上に、前述した増築工事費を捻出する必要があります。これらの理由から、備品の購入に助成金を活用させていただきたく、今回の申請に至りました。

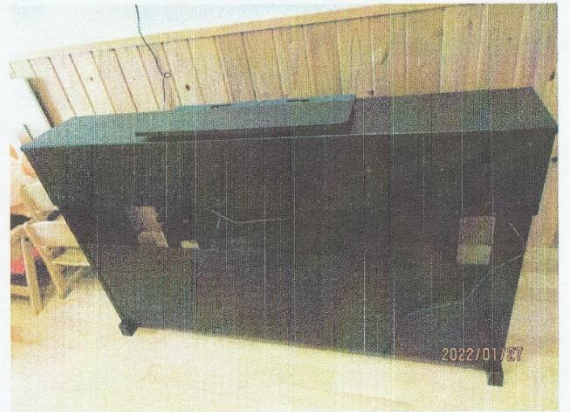
◇ 事業の具体的な成果

従来ピアノ及び電子ピアノをホールと保育室に設置しておりましたが、台数が足りずに3つの保育室ではミニキーボードなどで代用していましたため、保育の質の担保、向上のため増台の必要がありました。

今回、新たに電子ピアノ2台を購入させていただき、すべての保育室に電子ピアノを設置することができました。方、時には夜間保育利用などもあり、長時間園で過ごすことの多い園児にとって、音楽にふれることのできるよい環境を作れました。また、保育士のモチベーションが向上し相乗効果となったことも成果の一つとなりました。

支部長 小林 健二

◇ 助成品



◇ 利用の様子

